

「第 60 回 記念 産学官交流」講演会・交流会

『主催』：静岡市清水産業・情報プラザ 『共催』：しみず新産業開発振興機構、静岡市産学交流センター

第 60 回（平成 22 年度第 3 回）のご案内を申し上げます。

今回は記念すべき 60 回目の交流会です。静岡県立大学より下記のような内容でご講演いただきます。最先端研究の内容を知ると同時に、研究者との交流も持っていただき、今後の企業活動に活かしてもらえればと考えます。多数のご来場をお待ちしております。

学 校	静岡県立大学		
開催日時	7 月 1 6 日（金）		
	講演会	17:00～18:30	交流会 18:30～19:30
会 場	講演会	静岡商工会議所静岡事務所 4 階 会議室	
		（注）静岡事務所：静岡市葵区黒金 20-8	
	交流会	同 上	
講 演 1	『 日常食品中に含まれる変異・発がん物質の毒性とそれに対する静岡県地場産品による抑制効果 』 食品栄養科学部准教授 増田 修一 氏		
講 演 2	『 産学官民連携を目指す本学のチャレンジ 』 学長 木苗 直秀 氏		
■	併催：ポスターセッション、パネル展示ほか		

参加料 無料（交流・懇親会参加者は 1,000 円：軽食・飲物を用意いたします）

定員 80 人

申込方法 下記申込書に記入して Fax、Mail で申し込み下さい。

事務局 静岡商工会議所 新産業課（担当：相磯、小塚）

TEL：（代）054-355-5400 FAX:054-340-5117（専用）・352-7817 mail:info2@nio-s.net

※ 学校側との積極的な交流を図るためにも、ぜひ交流会までご出席下さい。

尚、申込書にご記入いただいた情報は、当日名簿として配布するほか、静岡商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますことを、ご了承下さい。

クールビズ実施中ですので、どうぞ軽装でお越し下さい。

第 60 回「産学官交流講演会・交流会」参加申込書（静岡県立大学）

平成 22 年 7 月 16 日（金）開催

事業所名		
参加者名		
所属・役職		
講演会	参加 ・ 参加しない	参加 ・ 参加しない
交流会	参加（有料） ・ 参加しない	参加（有料） ・ 参加しない
住所		
TEL		
※E-mail		
※FAX		

※ 欄：今後の『産学官交流会』のご案内を希望される方はご記入願います。

（原則 E-mail 案内とさせていただきます。FAX でのご希望の場合は、「FAX 欄」のみご記入下さい。）

静岡商工会議所 新産業課（相磯、小塚） FAX 054-340-5117

講演 1. 『日常食品中に含まれる変異・発がん物質の毒性と それに対する静岡県地場産品による抑制効果』

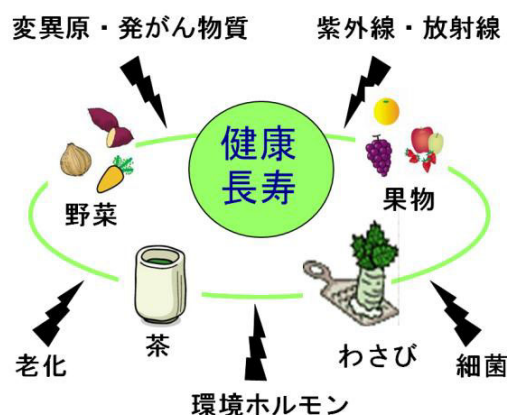
静岡県立大学食品栄養科学部准教授 増田 修一 氏



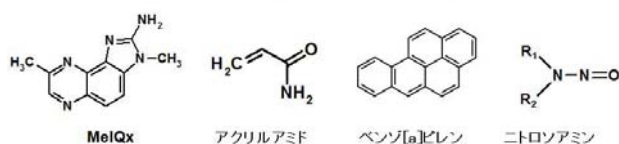
Keywords: 食品, 変異・発がん物質, 静岡県地場産品, 緑茶, わさび

現在、我が国における死因の第一位は悪性新生物、がんであり、その死亡率は年々増加傾向にある。発がんの主要な要因としては、喫煙の他、我々が日常的に摂取している食品であると報告されている。これら食品中には多種多様な化学物質が生成・存在しており、特に豚、牛、鶏などの獣肉や魚介類を加熱調理した際に生成する MeIQx などのヘテロサイクリックアミン類、ベンゾ[a]ピレンなどの芳香族炭化水素、またフライドポテトなどに含まれるアクリルアミドは強い発がん性を示すことが明らかになっている。さらに魚介類中に含まれる二級アミンと食品中に存在する亜硝酸塩または硝酸塩を同時に摂取した場合、胃内酸性条件下で反応して強力な発がん物質であるニトロソアミンが生成する。したがって、これら化学物質の生成や生体内における毒性発現を予防・抑制することは、我々が健康的な生活を送る上で大変重要な課題である。

本講演では、これら食品中の変異・発がん物質の生成機構や遺伝毒性の発現を、またそれら化学物質の生成や毒性に対して抑制効果を示す食品素材、特に緑茶やわさび等静岡県地場産品の作用について紹介する。



食品中の変異・発がん物質



講演 2. 『産学民官連携を目指す本学のチャレンジ』

静岡県立大学 学長 木苗 直秀 氏



Keywords: 産学民官連携, フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト

静岡県立大学は、薬学、食品栄養科学、国際関係学、経営情報学、看護学の5学部・5研究科、及び環境科学研究所と短期大学部を有する総合大学であり、特色ある教育研究活動を進めている。本学には国内で唯一、薬学と食品栄養科学の両分野があり、薬食同源、食薬融合に関する共同研究を進めており、「健康長寿科学」の確立を目指している。

本学は、研究成果を生かした産学民官連携を積極的に推進し、県中部地域に多く集積している食品、医薬品、化成品産業による「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」や、県東部地域における医療からウェルネスまで世界レベルの研究と商品開発を進めている「ファルマバレープロジェクト」、さらに県西部地域の光・電子技術関連産業の集積を図る「フotonバレープロジェクト」において、企業や公設試験研究機関、他大学との共同研究を推進している。特に、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトでは、静岡大学や東海大学、食品・医薬品・化学系企業と連携し、保健機能食品、医化学品を活用してストレスや生活習慣病の克服、アンチエイジング手法の構築を目指している。なお、本学では、「産・学”民”官」連携という用語を用いているが、これは、産学官関係者も家では民であり、民の目線で大学の知を役立てて頂くという意識を広めるために用いており、毎年、フォーラム「産学民官の連携を考える集い」を開催している。

